



# 立正佼成会ニューヨーク教会

320 East 39<sup>th</sup> Street, New York, NY 10016 TEL: (212) 867-5677

E-mail address: koseiny@aol.com, Website : <http://rk-ny.org>

ニュースレター2021年 2月号

皆様こんにちは！

新しい2021年が始まり1か月が過ぎました。



振り返りますと、コロナ感染症が世界中に拡大し始めてから一年が経ちます。

これまでコロナ・パンデミックにより世界中で200万人をこえる死者が出ていますが、この数は一つの大都市の人口にもなります。さらに現在その拡大は第2波、第3波と続き、新たに強力な変異型ウイルスも各地で発見されています。これに対しようやくワクチンが昨年末に開発され、少しずつその接種が始まったところです。

これまでの一年で多くの方が亡くなりましたがその尊い御霊にご冥福をお祈り申し上げます。

さらに、現在病床で加療中、家庭で療養中のみなさまの一日も早い回復を祈念いたします。

またこの中であって不眠不休、緊張と疲労で献身的にとりまわっている医療関係者の皆様に心より感謝申し上げ、さらに私たちが各家庭で自粛を強いられる生活の全般を支え続けて下さっている行政機関の関係者、エッセンシャルワーカーの皆様への感謝を忘れることができません。

この未曾有な体験の中で、私たちはこの事実をどう受け止め、見つめて行けばよいのか佼成新聞の新年号で何人かの識者が提言をされていましたので、ここに紹介をさせていただきます。

「ウィズ コロナ時代」への提言として大学教授、哲学者、経済アナリスト、文芸ジャーナリストの方たちからの提言です。

そのテーマは、「コロナ化を生き抜く」、「コロナ感染拡大は資本主義への警告」、「コロナ禍による文明変動-----社会と政治はどこに向かうのか」、「コロナが浮き彫りにしたもの、これまでと今後の文明」、「ウィズ コロナと文学」について述べられ大変興味深い内容でした。

ここに一つ一つを紹介できませんが、私が大切と思ったことを以下にまとめさせていただきます。

このコロナ禍を通じて人々がこれまでの世界のあり様を見つめ直す必要があるという事です。

資本主義が農村を疲弊させ、大都市集中が進んできたその中で感染症の拡大につながり、地球環境の破壊にもつながっている。資本主義の進化と共に拡大化したエネルギー消費が地球温暖化や異常気象につながり、さらに格差拡大では世界富豪上位26位までの資産合計は世界人口のうち38億人の保有資産と同額となっている。もはや利益拡大を続けないと存在しえない資本主義との決別をし、生命や自然を優先する必要があると述べられています。

また別の提言として、日本の江戸時代までの伝統的な考えでは、「自然と人間の関係」、「生きている人間同士の関係」、「生者と死者」が重なり合い社会は成立していると捉えられていた。

現代社会は、生者の論理が社会を支配している。自然は遠ざけられ、死は不安や恐怖でしかなかった。生者の欲望が自由に振る舞い、それが世界を荒廃させ続けている。

その意味で私たちは社会とは何かを根本から問いたださなければならない。

経済は社会維持の道具であって、真の目的は私たちの社会をよりよく維持することにあるということである。

また別の提言では結論としてこう述べています。

まだ世界の危機は続く事を覚悟せざるを得ない状況だが、このコロナ禍を通して人類が根本的に舵を切り替えれば地球全体で本当の幸せと繁栄に向かうだろう。

会長先生はご親教で書初めをご披露下さり、「燈明」、「省心」とお示しく下さいました。

「燈明」は自燈明・法燈明に通じ、法(教え)に沿って自らが燈明となり多くの人々に希望と喜びを伝えられるように、「省心」は自らを常に省みる姿勢、そして無駄なものを省き、より本質的なものを見つめてゆく大切さを今年の心構えとしてお教え下さいました。

このコロナ禍にあつて前述の提言と合わせ自己を見つめ、時代と向き合つて行きたいと思つています。

合掌

RKNY 畠山友利

